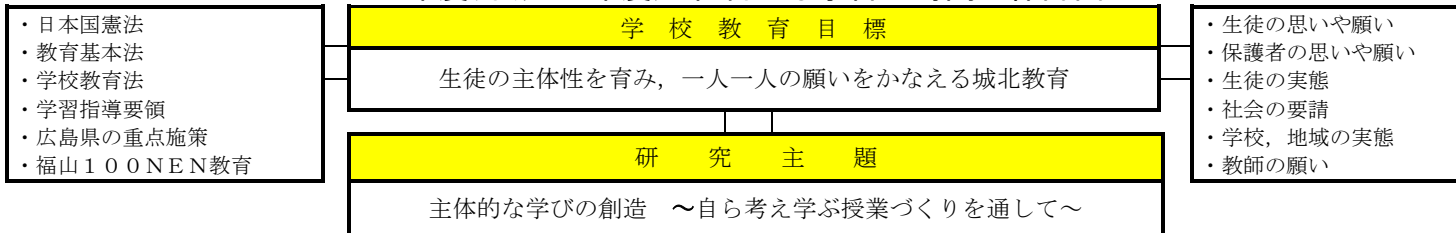


2017年度(平成29年度) 総合的な学習の時間全体計画



連 携	総合的な学習の時間の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携 ・地域との連携 ・公共機関との連携 	横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を発見し、その課題を解決していこうとする主体性を持ち、また、課題の解決には、教科等で養われた、思考力・判断力・表現力を発揮し、他者とのかかわりを通して、自らの自己形成を深め、自らが学習したことやその成果を他者へ伝えたり、地域社会へ発信したりすることができる。

本校で育成を目指す資質・能力

資質・能力		特に身に付けさせたい力
知識・技能	知	①学習したことを自ら語れる力 (知の構造化)
思考力・判断力・表現力	思	①根拠をもとに、正しい判断をする力 (論理的思考力) ②よりよい解決のため、いろいろな見方・考えを持つ力 (批判的思考力) ③自分の考えを相手が納得できるよう分かりやすく伝える力 (言語力)
主体的に学ぶ力	主	①自ら課題を見だし、解決しようとする力
他者とかかわる力	他	①他者と協力(協働)し、課題を解決しようとする力 ②他者とのかかわりを通して、自らの考えを深めたり広げたりしようとする力
社会貢献力	社	①よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行しようとする力
自己形成力	自	①前向きにチャレンジし、より自律・自立した人間になろうとする力 ②自信を持つ力

各 学 年 の 目 標

	第1学年	第2学年	第3学年
目標	自ら課題を発見し、解決するために必要な情報を収集、分析し、まとめ、発信または行動化する基礎的な力を身に付ける。	働くことについて探究的に学び、これからの生き方を深く追究しようとする態度を身に付ける。	地域や社会に対して自ら課題意識を持ち、解決に向けて行動化する力を身に付ける。

内 容

課題	①地域を知り、地域の課題を考えること 【地域理解・社会貢献】	②将来の道筋を考えること 【自己探究】	③仕事に対する職業観・勤労観 【地域理解・社会貢献】	④「働くこと」に対する考え方 【自己探究】	⑤地域環境・地域社会の課題と向き合うこと 【地域理解・社会貢献】	⑥現代的な課題に向き合うこと 【自己探究】
学習対象	地域の文化施設で働いている人	職業の選択	働くことの意味や働く人の夢や願い	「働くこと」に対する自らの考えと他者の考え	よりよい地域社会のために考えられる地域の課題とその解決法	自らが関心を持った出来事や世界中にある現代的な課題
学習事項	地域で働く人々の生き方や仕事についての考え	将来の職業に就くまでの道筋	地域で働く人々の仕事に対する姿勢や態度	「働くこと」に対する価値観や倫理観	よりよい地域社会のために自ら行動できる社会貢献	現代的な課題と自分のかかわり
学習活動	地域にある、文化施設について調べ、自らの郷土や地元に対する理解についての課題を見出し、今の自分たちで考え得る解決策を考え、実行する。	職業について調べ、その職業に就くための認識に課題意識を持ち、『職業に就くまでのロードマップ』を作成することを通して、将来設計について深く考える。	事前学習では、職場体験に向け必要なスキルを磨き、職場体験で発揮する。事後学習では、お世話になった事業所へお礼として行動化できることを企画し実行する。	職場体験学習を通して、「働くこと」の意味や意義、そして働くことに対しての適性・課題などをより深く理解し、今後の生き方や進路選択につなげていく。	地域の事業所や公共施設などにおいて、現場で実態調査を行い、「よりよい地域にするために」という視点で課題を見だし、解決法を企画し、それを外部機関へ提案または実行する。	関心を持った出来事や世界中にある現代的な課題を取り上げ、現状を丁寧に取材・分析し、専門家の見識等を踏まえながら、その問題の解決策を卒業論文としてまとめる。

(各教科等の関連)



(指導と評価について)

道徳	関連する能力や技能など	
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心 ・郷土を愛する心 ・目標に向かって努力する心 ・助け合ったり支え合ったりする心 ・奉仕の心 ・日本や外国の文化を大切にすること ・生命尊重の心 ・自然を愛する心 ・高齢者や生活を支える人への感謝、尊敬の心 	国語	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えが相手に伝わるように表現する力 ・相手が伝えたい事柄を正確に理解する力 ・考えをまとめる力
	社会	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に対する関心を高め、進んで調べようとする態度 ・統計、資料などを読みとり活用する力 ・観察や調査をし、考察する力 ・調べた事柄を目的にあった方法で表現する力
	数学	<ul style="list-style-type: none"> ・筋道を立てて考える力 ・目的に合わせて表やグラフを使って表現する力 ・分析、説明する力
	理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事象に関心を持ち、進んで調べようとする態度 ・科学的に筋道を立てて考え、問題を解決する力 ・事象を推測し、予想を立てて検証していく力
特別活動	音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・自己表現する力 ・鑑賞を通して様々な文化への関心をもち、その文化について理解しようとする態度
<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの仕方 ・集団をよりよくしていくこととする意欲、態度 ・主体的活動の進め方 ・社会の一員としての自覚と責任 ・将来の生き方と進路 	美術	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な題材を選び、自分の表現で描く力 ・テーマにそって制作する力 ・デザインの構成をする力
	保・体	<ul style="list-style-type: none"> ・協働の経験を通して公正な態度を育てる力 ・健康、安全に気をつけ活動する力
	技・家	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの基本的な構成と機能を知り、操作ができる力 ・課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度
	英語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手に分かるように適切に表現する力 ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 ・さまざまな言葉や異なる文化に対して興味、関心をもち、理解しようとする態度

指導方法
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが課題を見いだすための指導法の工夫 ・各教科との関連を意識した学習活動の展開 ・ふくやま「ふるさと学習」とも関連させた学習活動の展開 ・「読む」「聞く」「書く」「話す」などの言語活動を積極的に取り入れた学習活動の位置付け ・グループ活動や共同学習を意識した学習活動の充実
学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ・指導と評価の一体化の重視 ・育てたい資質・能力を評価の観点とし、単元の学習活動に沿った評価基準の設定 ・ポートフォリオを活用した評価の充実 ・授業分析による学習指導の評価と授業改善 ・研究部会、総合的な学習の時間部会を活用した評価の実施
指導体制
<ul style="list-style-type: none"> ・学年部を中心とした指導とサポートの体制を構築する ・学年会と校内研修での実践を中心として情報の交流を行う